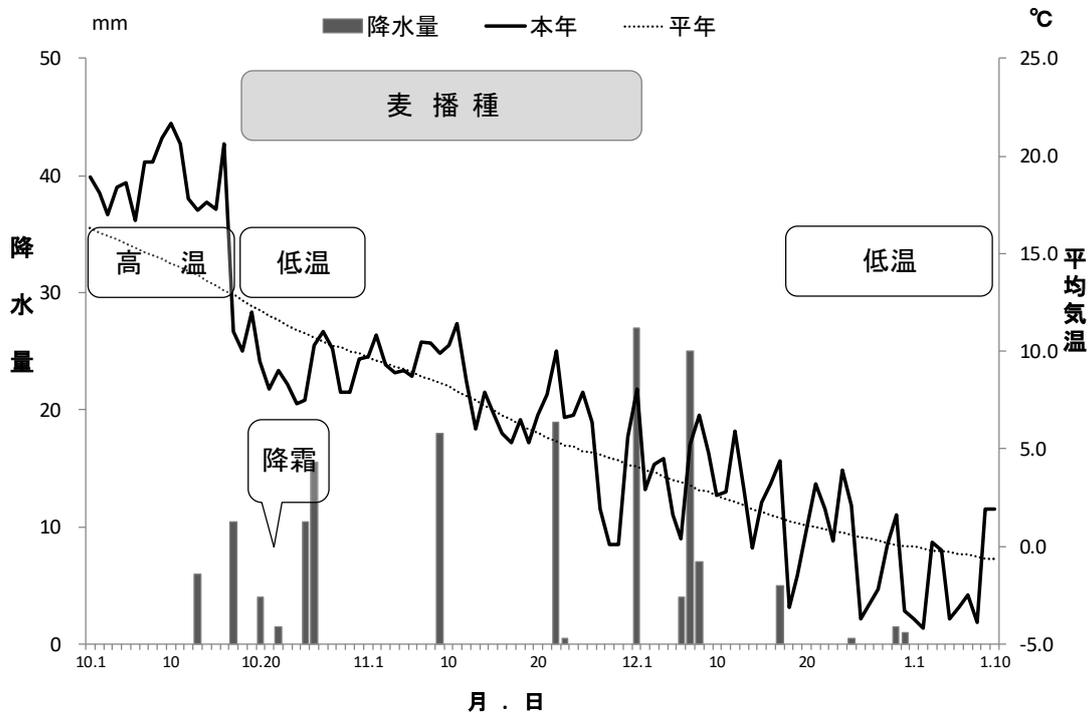


# 令和4年 作物技術情報第1号 (麦の越冬前生育状況について)

## 1 気象状況

令和3～4年 気象経過(穂高アメダス 10月1日～1月10日)



10月下旬は低温でしたが、12月中旬までは概ね平年並の気温でした。12月下旬以降は低温で推移しています。

- 10月中旬から12月上旬まで断続的な降雨がありました。12月中旬以降の降水量はかなり少ない状況です。

## 2 麦の生育状況

### 【播種状況】

- ・ 水稲後の麦は10月下旬から播種が始まり、11月上旬で概ね終了しました。
- ・ 大豆後の麦は10月末から播種が始まり、11月末で概ね終了しました。山麓沿いの標高の高い圃場では、大豆の収穫が遅れたため播種作業はやや遅れました。
- ・ 天候に恵まれ降雨も少なかったため、湿害も少なく麦の出芽は概ね順調でした。ただし、播種深度が深く出芽が遅れている圃場もあります。また10月下旬播種の大麥では、生育過剰で葉の黄化が目立つ圃場もあります。

### 【越冬前の生育状況】

- ・ 12月下旬における、管内の麦の生育状況は概ね以下のとおりです。

#### 【 越冬前（12月下旬）の生育状況】

播種日	葉令	分けつ	生育
10月下旬	4～5葉	2	過剰～やや過剰
11月上旬	3～3.5葉	1	並
11月中旬	2～2.5葉		やや少
11月下旬	1葉前後		少

- ・ 2月末より1回目の追肥作業が開始されると思われませんが、追肥時期・追肥量は越冬後の生育状況で左右されます。
- ・ 2月初旬に越冬後の生育調査を実施します。調査結果は次回の技術情報でお伝えしますので、生育状況にあった追肥をお願いします。